

## 介護ビジネスピックアップ

### HCMが住宅型有老ホーム事業に参入 5月に第1号施設を千葉市内に開設、5年で30施設を計画

訪問介護の(株)HCM(東京都港区)は5月10日、住宅型有料老人ホームの第1号施設を千葉市内にオープンする。主力の訪問介護に次ぐ事業の柱として位置づけるとともに、訪問介護の利用者の安定確保につなげる。今後5年間で首都圏を中心に30施設の建設を計画している。

施設名は「アミカヴィラ稲毛」(千葉市稲毛区)。立ち上げに当たっては、土地建物をオリックス不動産から賃借した。居室数は83室で定員は93人。居室の広さは1人部屋が18.6㎡、2人部屋が37.21㎡。入居者へのケアは施設に併設した同社の訪問介護事業所が担う。また医療面では、近隣のクリニックなどと連携し、訪問診療を受けられるようにするほか、日中は有老ホーム内に看護師を常駐させる。

料金は入居一時金が980万円から、月額利用料が19万8000円から。入居一時金がないプランも用意しており、この場合は月額利用料金が33万5250円からとなる。



HCMの「アミカヴィラ稲毛」の外観